“利用者も、事業者も、働く者も、大事にする介護保険を！

みんなで考えよう介護保険！
みやぎ県民フォーラム2020
News

2020.11.12.Thu No3

発行／実行委員会事務局　TEL022-388-9968（宮城厚生福祉会本部）

（注／報道転載の為、組織内資料扱）

村井県知事 高齢者施設に「緊急警報」　11月09日NHK仙台

高齢者施設で、新型コロナウイルスのクラスター・感染者の集団が発生していることを受けて、村井知事は、県内の高齢者施設を対象に「緊急警報」を出し、感染予防対策を徹底するよう呼びかけました。

県内では9月以降、太白区の有料老人ホーム、「ネクサスコート愛宕」など、あわせて16のクラスターが発生していて、このところは、60代以上の高齢者の感染が急増しています。

さらに、今月に入ってから4人が死亡し、新型コロナウイルスの感染者の死亡者は6人になりました。

村井知事は9日の定例の記者会見で、入院患者の7割が60代以上の高齢者が占めていることなどから、高齢者の感染を抑える必要があるとして、高齢者施設などを対象に、「緊急警報」を出したことを明らかにしました。

これまでの県の調査で、いずれもクラスターが発生した高齢者施設では、入浴介助の際にマスクを外すことがあったほか、遊興施設では、カラオケの際、マイクの消毒が不十分だったことがわかったということです。

村井知事は、「高齢者や基礎疾患のある人が重症化すると、死亡のリスクが極めて高くなる。家族間での声かけも必要で、基本的な予防対策の徹底をお願いしたい」と呼びかけました。

病院や介護施設「面会権」尊重を 仙台の弁護士、宮城県と市に要望書

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/202011/20201111_11005.html　11月10日河北新報

新型コロナウイルス感染症の影響で、病院や介護施設で面会制限が続く状況について、鹿又喜治弁護士（72）＝仙台弁護士会＝は10日、「面会する権利は基本的な人権の一つ」として、感染を防ぐ面会方法を施設に示し、実施を促すよう宮城県と仙台市に要望した。

県庁で記者会見した鹿又氏は、同級生が今年4月に入院し、7月に亡くなるまで妻とも会えず別れの言葉も言えなかった事例を紹介。「高齢者は子どもや孫に会えない状況が続き、生きがいをなくす。家族も施設に声を上げにくい状況がある」と指摘。面会の在り方の再検討を行政に求めた。

県長寿社会政策課の担当者は「感染防止対策の経費を国が一部補助する制度があり、面会用のタブレット端末なども対象だ」と説明。施設側の面会の対応については「感染防止と心身の健康バランスが保てるようにしてほしい」と一般論を述べるにとどめた。

厚生労働省は、介護施設の面会を原則禁止としていたが、10月に条件付きで緩和することを認めた。最終的な判断は、施設に委ねられている。

Web会議用アプリ ZOOMでも参加できます！

新型コロナウイルスが全世界的に拡大し、日本においても第二波の感染が広がっています。介護事業は、医療と同じく、感染拡大期にあっても国民の生活を下支えする重要な社会的インフラであると考えます。　新型コロナウイルス感染リスクの高い高齢者を守り、緊急事態の中でも国民生活の下支えを行う社会福祉施設。職員を守り、「介護崩壊」を起こさないために運営面・経営面において緊急の対策が求められています。また、利用者・家族のみなさんに新たな困難が生じています。

2020年10月、呼びかけ人連名で、宮城県知事・仙台市長宛て「新型コロナウイルス感染拡大を受けて『介護崩壊』を起こさせないための要望書」を提出し、担当部局と懇談を行いました。

厚労省では3年に1度の介護報酬改定議論が、自治体においては第8期の介護保険事業計画の策定が進行中です。「保険あって介護なし」とならないよう、利用者・家族、事業者、働く人、市民のみなさま、ごいっしょに考えてみましょう。

〈呼びかけ人〉　畑山みさ子（宮城学院女子大学名誉教授）
内舘　昭子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長）
高橋　　治（社会福祉法人　仙台ビーナス会会長）
若生　栄子（公益社団法人「認知症の人と家族の会」宮城県支部代表）
井上　博之（宮城県保険医協会理事長）
刈田啓史郎（宮城県社会保障推進協議会会長）
丹野　広子（社会福祉法人　宮城厚生福祉会理事長）
（順不同）

2020年12月12日（土）14:00～16:30（開場13:30）
フォレスト仙台2F 第5･6会議室【会場定員60名】

（仙台市青葉区柏木1-2-45　TEL:022-271-9340）

参加費無料　**参加には事前申し込みが必要です。**

■第一部／学習講演
「新型コロナと介護
介護報酬改定と介護の未来」
講師　林　泰則氏（全日本民医連事務局次長）
＊講師の林さんはWebでの講演です

■第二部／新型コロナと介護をめぐる現状について
〇大内　誠氏（宮城厚生福祉会法人事務局長）
〇吉島　孝氏（こーぷ福祉会理事長）

主催／みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2020実行委員会
〈事務局〉TEL022-388-9968／宮城厚生福祉会本部

【構成団体】NPO法人介護･福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ．宮城県保険医協会．公益財団法人宮城厚生協会．社会福祉法人宮城厚生福祉会．公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部．社会福祉法人仙台ビーナス会．宮城県生活協同組合連合会．宮城民医連事業協同組合．社会福祉法人こーぷ福祉会．宮城県医療労働組合連合会．宮城県民主医療機関連合会．宮城県社会保障推進協議会．フルール介護ステーション．全国福祉保育労働組合宮城支部．みやぎヘルパー介護労働者連絡会（順不同）[11/4現在]

アクセス

地下鉄　北四番丁駅下車、「北2出口」より北に徒歩7分

J　R　JR仙山線「北仙台駅」下車、徒歩12分

申し込みは裏面用紙にて
WebもしくはＦＡＸで
お願いします

みやぎ県民フォーラム2020 参加申込書

応募締め切り：2020年12月7日（月）必着

定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

Webでの申し込み方法

QRコードを読み取り、申込フォームから必要事項を入力して送信！

→ 実行委員会事務局より、登録いただいたアドレスへ参加のためのURLが送信されます。

→ 当日、開始時間にURLをクリックすれば参加完了！

＊QRコード読み取れない場合　https://forms.gle/L7iQ8L69B9aaLaCa7

ＦＡＸでの申し込み方法

FAX 022-388-9969

下記記入いただき、この用紙でFAXしてください。

○で囲む	団 体 ／ 個 人	
団体名		
参加者 氏　名	来　　場　□ オンライン　□	氏名：　　TEL： メールアドレス：
参加者 氏　名	来　　場　□ オンライン　□	氏名：　　TEL： メールアドレス：

※ご記入いただいたお名前やTELなどの個人情報は、この目的以外には使用しません。
※来場参加、オンライン参加のいずれかに✓印を付けてください。またオンライン参加の場合は、ZoomのURLをお送りしますので、必ずメールアドレスをご記入ください。

来場による参加：定員60人

ソーシャルディスタンスを保つために、ご来場いただいての参加は定員を60人、先着順とさせていただきますので、お申込みはお早めにお願いいたします。

オンライン参加

事前に主催者より招待URLを、ご登録いただいたアドレスに送信いたします。Zoomのアプリケーションをインストールいただき、講演会当日URLを開いてご参加いただきます。参加方法など詳細につきましては、参加受付後にご連絡いたします。